

令和5年度 第3回 小櫃・上総地区公民館運営審議会 会議次第

日 時 令和5年12月6日(水) 午後2時から
場 所 上総地域交流センター上総公民館
多目的ホール

1 開 会

2 三橋委員長あいさつ

3 石井館長あいさつ

4 報 告

(1)報告事項その1 各公民館事業の中間報告

5 協 議

(1)協議事項その1 「20歳のつどい」について

- ①令和6年1月実施の「20歳のつどい」進捗状況
- ②令和8年1月実施予定の「20歳のつどい」について

(2)協議事項その2 審議テーマにおける事例報告

審議テーマ:「地域活性の拠点としての公民館運営・事業」

- ①先進事例について「宮城県白石市の取り組み」
- ②各館の取り組み状況等

6 その他

7 閉 会

令和5年度 第3回小櫃・上総地区公民館運営審議会
資 料

小 櫃 公 民 館
上 総 公 民 館

令和5年度小櫃公民館事業中間報告（9～11月）

1 コミュニティ活性化事業

○第49回小櫃地区文化祭

- ・期日:10月28日(土)、10月29日(日)開催
- ・来場者数:両日で約760人
- ・内容
 - ①展示部門→書、菊花、絵画、生け花、手芸、子どもの作品、活動紹介の展示のほか、展示からの積極的派生で屋外でのピラティス、クラフトテープやディンプルアートのプチ体験会
 - ②発表部門→子どもたちによる書道パフォーマンス
 - ③販売部門→敷地内での飲食が可能
 - ④体験部門→「君津ふるさとかるた」の予選会、「旧風友会」によるお点前体験
 - ⑤特別企画→「日伯交流親善事業 50 周年記念」の展示、関連映像の上映と、サークル「虹の会」によるコーヒー等の提供

2 青少年教育事業

○小櫃地区 20 歳のつどい実行委員会

*別紙資料 1 - 2 にて詳細を掲載

3 課題解決学習推進事業

(1) ほほえみ学級(高齢者学級)

- ・第4回目 9月28日(木)「医療講演会」(公開講座) 29名
講師:望月崇紘氏(小櫃診療所)
- ・第5回目 10月11日(水)「今のジブンの体力を知ろう!」 17名
講師:栗原斗志氏(あすなろクリニック)、秋山大輔氏(千葉医療福祉専門学校)
- ・第6回目 11月22日(水)移動学習「関東大震災から 100 年」 16 名
行先:千葉県立中央博物館、千葉県西部防災センター

(2) 子育てサロン「おびつな」

- ※9月8日(金)「アルバムカフェ」→諸事情により日程を 12 月 25 日に変更
- ・第5回目 10月13日(金)「おやこ de 散歩～久留里線に乗ってみよう～」 19 名
- ・第6回目 11月10日(金)「幼児期に必要な栄養と食事&災害時の強い味方パッキング」 5名

(3) おびつスマイルサロン “いーね”

- ・第6回目 9月15日(金)「はじめましょう!こころの健康づくり」
講師:加藤那美子氏(健康づくり課) 26 名

・第7回目 10月20日(金)「秋の特別企画☆歌の旅にでかけましょう」

講師:「スマイルスマイル」 26名

・第8回目 11月17日(金)「高齢者の福祉サービス」

講師:佐々木貴博氏(高齢者支援課) 22名

(4) 介護家族のひろば おびつスマイルサロン“いーね”の派生事業としてプレ実施。当事者同士による「ピア・カウンセリングの場」。

・11月14日(火) 10名

協力:東部地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、介護者ネットきみつ

(5) デジタル活用講座 ※学びなおし支援として実施

①8月31日(木)【Aコース】「超入門!いまさら聞けないスマホの使い方」 7名

講師:ドコモショップ君津店(デジタルデバインド対策スマホ講座)

②9月14日(木)【Bコース】「知ったク!スマホの便利な使い方

～LINEを使ってみよう～」 5名

講師:ドコモショップ君津店(デジタルデバインド対策スマホ講座)

③9月28日(木)【Cコース】「スマホでできる公民館の予約方法」 6名

説明および補助:小櫃公民館職員(會澤・島津)

④10月5日(木)【Dコース】「スマホで読める電子書籍サービス」 5名

講師:三沢寿宏氏(中央図書館司書)

※「まちづくりふれあい講座」No.42 電子書籍サービス

(6) 趣味教養講座:「ちょっと癒されたい女性のためのヨガ教室」女性限定。

趣味につながる体験の時間を提供。ヨガ体験の後、おしゃべりタイムも設定。サークル化も視野に、平日・土日、昼間・夜間と設定を変え募集。

①11月9日(木)夜の部 5名

②11月18日(土)昼の部 4名

③11月27日(月)夜の部 8名

(7) 小櫃学「戦国時代の地を巡る里見再発見伝」 里見義弘の墓(瑞龍院・三田)→久留里城(資料館にて座学「義堯・義弘と君津」)→三舟山というコースを生涯学習バスと徒歩(5.4km)で移動。

・11月25日(土) 定員30名

4 小櫃公民館50周年記念事業

・全体会議 10月19日(木)

・記念誌編集委員会 第4回9月25日(月)、第5回10月19日(木)

・記念式典委員会 第2回10月19日(木)

※式典出演候補者へ依頼交渉 11月9日(木)

令和5年度上総公民館事業中間報告（9～11月）

1 コミュニティ活性化事業

(1) 上総公民館だより

- ・ 9月21日 文化祭特集号の発行
第51回上総地区文化祭の案内

(2) 上総地区文化祭

- ・ 10月21・22日（土・日） 第51回上総地区文化祭
テーマ「つながる ひろがる 上総の文化」
模擬店・舞台発表・体験・展示・子どもチャレンジコーナー等
来場者数 約1,500人（推計）

2 青少年教育事業

(1) 君津ふるさとかるた大会上総地区予選

- ・ 10月21日（土）上総地区文化祭の中で実施
（参加者：14名）

(2) 久留里・松丘・亀山地区20歳のつどいの取り組みについて

別紙資料にて掲載

3 課題解決学習推進事業

(1) 高齢者学級（さわやか学級）

- ・ 9月14日（木）講座「人と心の豊かなふれあい ～落語で学ぶ～」を実施
（参加者：17名）
- ・ 10月12日（木）講座「健康づくりと健康の維持 ～介護予防教室 みんなで歩こう!! 9030 90歳で30分の歩行～」を実施
（参加者：21名）
- ・ 11月8日（水）講座・実技「健康な体づくり ～グランドゴルフ体験～」を実施
（参加者：23名）

(2) 上総子どもふれあい教室

- ・ 11月25日（土）「外国の人にあそびを教えてもらおう！」を実施

(3) 地域住民交流教室

- ・ 10月25日（水）「性別の多様性と人権」
高橋富美代氏（千葉地方法務局木更津市局総務課長）をお招きし、性別の多様性と人権について、DVDを活用しながら分かりやすくお話をいただいた。
（参加者：8名）

4 分館事業

(1) 松丘分館事業

○第18回松丘ふれあいまつり

11月11日(土) 午前9時30分～午後3時

模擬店・フリーマーケット・舞台発表・展示・ハロウィンパーティー・モルック大会・ドローン空撮等 来場者数約 約550人(推計)

○趣味教養講座「松丘健康講座」(全4回)

*第1回:9月22日(金) 午前10時～午後1時

テーマ:生涯骨太クッキング!

講師:君津市食生活改善推進委員

乳製品を用いた調理実習を通して、骨太になるレシピを学んだ。

(参加者18名)

*第2回:10月11日(水) 午前9時25分～10時

テーマ:子どもから元気をもらおう!一緒にゲームあそび♪

講師:岡部 佐和子氏

協力:上総地区社会福祉協議会、かずさあけぼの保育園

かずさあけぼの保育園の園児さんと一緒にスローエアロビクスをしながら交流し、心身ともに元気をもらった。

(参加者:38名(社協スタッフ22名含む))

*第3回:11月30日(木) 午前10時～12時

テーマ:知っているようで、本当は知らない?～糖尿病について～

講師:君津市高齢者支援課 保健師、管理栄養士

糖尿病の基礎知識や予防策について学ぶ。

*第4回は12月14日(木)開催予定

(2) 亀山分館事業

○第20回亀山ふるさとまつり

10月7日(土) 午前9時30分～午後2時

模擬店・舞台発表・展示・真空管アンプによる音楽鑑賞会・ミニ盆踊り・みんなで歌おう等 来場者数 約400人(推計)

○趣味教養講座「フレイル予防出前講座(高血圧編)」

11月14日(金) 午前10時～午後11時30分

テーマ:高血圧について学ぶ

講師:君津市高齢者支援課 保健師、管理栄養士

(参加者:10名)

5 その他

- ・11月9日(木)君津青葉高等学校と上総ロータリークラブ、ガーデニングを楽しむ会、まちなみ塾と一緒に上総地域交流センターの花壇に植栽を行う「花いっぱい運動」を実施。(参加者:23名)

小櫃地区20歳のつどいの取り組みについて

令和5年11月24日現在

1 実行委員体制・活動状況について

(1)小櫃地区実行委員会の活動

現在、新成人4名(すべて女性)で実行委員会を組織し、10月から11月まで会議を3回開催。初回の会議にて、前年の集いの様子を踏まえながら、実行委員各自の集いへの思いをワークショップ形式で共有。つどいの方向性として以下の点を確認した。

- ①親へ感謝の気持ちを伝える、②仲間と楽しく交流、③思い出に残る日にする
- ・ 実行委員会企画として、一人一言自己紹介の時間を設け、現在の近況や感謝の気持ちや抱負などを自分の言葉で語る。自己紹介中は、昔の写真だけでなく現在の普段の写真もスライドで流す。
- ・ 記念品は集合写真を送付する予定。

2 小櫃地区 20 歳のつどいについて

(1)会場配置

新成人・来賓・主催者・家族席含め 120 席を想定

- ・ 来賓者(市議会議員2名、自治会連絡協議会、小櫃振興会、小櫃の元気なこどもを育てる会、社会教育委員、公民館運営審議会委員 3 名、君津市消防団2名、青少年相談員、新成人恩師9名) 計21名
- ・ 保護者:新成人に対し家族2名まで

(2)内容について

流れ:①開会の言葉

- ②国歌斉唱(ピアノ演奏は新成人)
 - ③市長挨拶
 - ④来賓祝辞
 - ⑤来賓及び主催者紹介
 - ⑥祝電披露
 - ⑦新成人の抱負(全員から一言ずつ)
 - ⑧恩師からのメッセージ(小学校時代恩師、中学校時代恩師)
 - ⑨実行委員長よりお礼の言葉
 - ⑩閉会の言葉
- *閉会后、集合写真撮影

久留里・松丘・亀山地区20歳のつどいの取り組みについて

令和5年11月22日現在

1 久留里地区20歳のつどい

(1)久留里地区実行委員会の活動

- ・20歳を迎える5名で実行委員会を組織した。10月28日に1回目の実行委員会を開催、11月25日に2回目、12月中に3回目の実行委員会を予定している。
- ・実行委員会の企画として、20歳になった抱負、来賓や恩師の方には20歳を迎える方々に向けたメッセージをまとめたメッセージ集の発行を予定。また、つどい当日には、20歳を迎える方が1人ずつ描く夢、思い、抱負を語る20歳のメッセージ企画を予定。

(2)内容等

○会場配置

20歳を迎える人・来賓・主催者・家族席について、座席数は現在調整中

- ・来賓者（県議会議員1名、市議会議員1名、自治会連絡協議会会長1名、公民館運営審議会委員2名、青少年相談員1名、恩師複数名）

○主な内容

- ・開会の言葉
- ・国歌・市民歌演奏
- ・市長挨拶
- ・来賓祝辞
- ・来賓及び主催者紹介
- ・祝電披露
- ・20歳の方の自己紹介、抱負
- ・恩師からのお祝いの言葉
- ・閉会の言葉

2 松丘地区20歳のつどい

(1)松丘地区実行委員会の活動

- ・20歳を迎える4名で実行委員会を組織した。10月29日に1回目の実行委員会を開催、11月26日に2回目、12月中に3回目の実行委員会を予定している。
- ・実行委員会の企画として、20歳になった抱負、来賓や恩師の方には20歳を迎える方々に向けたメッセージをまとめたメッセージ集の発行、保護者へのプレゼント企画を予定。また、つどい当日には、20歳を迎える方が1人ずつ描く夢、思い、抱負を語る20歳のメッセージ企画を予定。

(2)主な内容

○会場配置

20歳を迎える人・来賓・主催者・家族席含め50席を想定

- ・来賓者（市議会議員2名、社会教育委員1名、自治会連絡協議会会長1名、松丘地区コミュニティ活動推進委員会会長1名、公民館運営審議会委員1名、青少年相談員1名、恩師複数名）

○主な内容

- ・開会の言葉
- ・国歌・市民歌演奏
- ・市長挨拶
- ・来賓祝辞
- ・来賓及び主催者紹介
- ・祝電披露
- ・20歳の方の自己紹介、抱負
- ・恩師からのお祝いの言葉
- ・実行委員長のお礼の言葉
- ・閉会の言葉

3 亀山地区20歳のつどい

(1) 亀山地区実行委員会の活動

- ・ 20歳を迎える6名で実行委員会を組織した。10月29日に1回目の実行委員会を開催、11月26日に2回目、12月中に3回目の実行委員会を予定している。
- ・ 実行委員会の企画内容は、20歳になった抱負、来賓や恩師の方には20歳を迎える方々に向けたメッセージをまとめたメッセージ集の発行、スライドの上映を予定。また、つどい当日には20歳を迎える方が1人ずつ描く夢、思い、抱負を語る20歳のメッセージ企画を予定。

(2) 主な内容

○会場配置

20歳を迎える人・来賓・主催者・家族席含め50席を想定

- ・ 来賓者（市議会議員1名、自治会連絡協議会会長1名、公民館運営審議会委員1名、青少年相談員1名、恩師12名） 計16名

○主な内容

- ・ 開会の言葉 ・ 国歌・市民歌演奏 ・ 市長挨拶 ・ 来賓祝辞 ・ 来賓及び主催者紹介
- ・ 祝電披露 ・ 20歳の方の自己紹介、抱負 ・ スライドショー上映
- ・ 恩師からのお祝いの言葉 ・ 閉会の言葉

令和 8 年 1 月実施 20 歳のつどいにかかる懸案事項

はじめに

「成人を祝う集い」の時から、青年の門出をともに祝い励ます行事を地域の人々との交流を深める機会をもちながら、対象者の主体性を生かして取り組みを進めてきた経緯があり、上総地区では、久留里地区、松丘地区、亀山地区での開催（※経緯については下記参照）となっている。上総小櫃中学校区となったことで、小櫃地区も加わり 4 地区の統合開催について、主役である 20 歳成人者にとって大人の自覚を得るに相応しい形態を模索していくと共に、学校統合後間もない現在の地域感情にも配慮していく必要がある。

※上総公民館開館（昭和 44 年）以前は、上総町で一つの会場を実施し、年度ごとに会場を持ちまわる移動方式で実施していた。公民館開館後は、ホールにて成人を祝う集いを開催してきた。

平成 16 年に亀山コミセンが開館したことに伴い、アンケートを実施し地域開催を検討するもこの時点では上総公民館開催を結論とした。その後、再び中学校区単位での開催について教育委員会からの諮問を受け、公運審で審議を行ない、平成 19 年度より中学校単位で 3 地区開催となって現在に至る。

1. 会場について ※最終決定は教育委員会のためあくまで判断材料として整理

候補	収容人数	駐車場	施設利用	懸案
上総地域交流センター多目的ホール	△ステージ含めて 210 人	△駅前交流広場、幼稚園等使用	○	
上総小櫃中学校体育館	○	○	△部活や社会体育と調整	・同窓会的雰囲気になりやすい ・看板等の移送

※上総・小櫃エリアでの開催の趣旨から、小櫃公民館、松丘コミセン、亀山コミセンでの開催は現実的ではないと思われる。

2. 実行委員会について

上総小櫃中学校区として、地域選出は行わず手挙げ・一本釣りで組織する。

※上総地区では小学校統合のため久留里、松丘、亀山の地区選出は困難。上総小と小櫃小での選出について、現に他地区の集い実行委員会（君津中学校区や八重原中学校区、小糸地区）では、小学校でバランスをとって組織化はしていない。

3. 来賓について

参集範囲によって地域感情に配慮が可能だが、人数が多くなるため現状の選出範囲より絞っていく必要がある。

○現状の参集範囲

- ・ 小櫃地区…地元市議、自治会連協、小櫃振興会、社会教育委員、公運審、小櫃の元気なこどもを育てる会、消防団（本部、支団）、青少年相談員、恩師
- ・ 久留里地区…県議、地元市議、自治会連協、公運審、青少年相談員、恩師
- ・ 松丘地区…地元市議、自治会連協、コミュニティ活動推進委員会、社会教育委員、公運審、青少年相談員、恩師
- ・ 亀山地区…地元市議、自治会連協、公運審、青少年相談員、恩師

○統合案

県議、市議（6名）、自治会連協（小櫃地区、上総地区）、公運審（正・副委員長）、社会教育委員（2名）、青少年相談員（小櫃地区、上総地区）、健全育成（小櫃地区、上総地区）計17名 + 恩師※

※恩師についても人数制限をある程度かけて、その枠内で呼びたい先生を実行委員に検討してもらう必要がある。

4. 事務分担

①事務担当

各公民館において20歳のつどいの担当者を配置し、2担当制とする。

②実行委員会組織化

各公民館エリアに対して実行委員募集と呼びかけを積極的に行っていく。

③実行委員会活動支援

上総地域交流センターを会議拠点として活動していく。

※このほか、会場準備や当日運営、予算の確保等については両公民館で調整していきながら進めていく。

「上総公民館のあり方に関するアンケート」調査概要について

1 調査の目的・趣旨

上総公民館を地域活性の拠点として、より身近で使いやすい施設にするため、上総公民館を利用する方、利用しない方に対しアンケートを行い、上総公民館に対するイメージやニーズを把握し、今後の公民館事業の方向性や事業展開に活用することを目的として実施しました。

2 調査対象

主に上総地区の住民や上総公民館、松丘コミュニティセンター（松丘分館）、亀山コミュニティセンター（亀山分館）の来館者

3 調査期間

令和5年10月5日（木）から11月11日（土）まで

4 アンケートの周知及び調査方法

- ・上総公民館、松丘コミュニティセンター（松丘分館）、亀山コミュニティセンター（亀山分館）の利用者に対して、ちらしによる周知及び回答用紙を配布
- ・上総公民館定期利用サークルに対して、ちらしによる周知及び回答用紙を配布
- ・文化祭参加団体に対して、ちらしによる周知及び回答用紙を配布
- ・上総地区文化祭、松丘ふれあいまつり、亀山ふるさとまつりの参加者等に対して、ちらしによる周知及び回答用紙を配布
- ・上総地区の10月5日の自治会回覧による、ちらしでの周知
- ・君津市ホームページによる周知

5 回答方法

- ・インターネット（Logo フォーム）にて回答
- ・回答用紙にて回答

6 アンケート内容（ちらし、回答用紙）、集計結果（グラフ等）のまとめ
別紙資料にて掲載

上総公民館のあり方に関する アンケート



ご協力をお願い！

上総公民館では地域活性の拠点として、より身近で使いやすい公民館を目指して、地域の皆様のご意見を伺うアンケートを実施します。

(3分程度。アンケート内容は公民館に対する認知度、利用目的、期待する取り組み、役割、期待する講座など)

つきましては、下記をご覧ください、いずれかの方法で回答くださるようお願いいたします。

記

- 1 期 間 10月5日(木)から11月11日(土)
- 2 回答方法
 - 下記の2次元バーコードをスマートフォンで読み込んで回答する。
 - 上総公民館のホームページ「上総公民館のあり方に関するアンケート」から回答する。
 - URL をパソコンで打ち込んで回答する。
URL <https://logoform.jp/form/Tpmw/372949>
 - 上総公民館、松丘コミュニティセンター、亀山コミュニティセンターにて配布しているアンケート用紙に回答を記入して提出する。



問 合 せ

上総公民館

電 話 27-3181

メール kazusa-k@city.kimitsu.lg.jp

上総公民館のあり方に関するアンケート

日頃から公民館活動にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

公民館は、地域住民のために学習・文化・スポーツ活動等、各種事業を行う社会教育施設です。

本アンケートは、上総公民館を地域活性の拠点として、より身近で使いやすい施設にするため、また、公民館に対するイメージやニーズを把握するために実施するものです。調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

※調査は無記名であり、個人が特定されることはありません。結果はすべて統計的に処理しますので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。調査結果は、調査の目的以外に使用することはありません。

問1 あなたの年齢はおいくつですか？あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代 6 60代
7 70代 8 80代以上

問2 あなたの住まいはどの地区ですか？あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 君津 2 小糸 3 清和 4 小櫃 5 上総 6 市外

問3 あなたの職業について、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 会社役員・会社員等 2 パート・アルバイト等 3 自営業・自由業等
4 主夫・主婦 5 学生 6 無職 7 その他（ ）

問4 あなたは、公民館が市民の皆様の様々な会議・集会・サークル活動の場として利用できることを知っていますか？ひとつ選び、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 知っていた 2 知らなかった 3 公民館があることを知らなかった

問5 あなたが公民館を利用する際、利用目的は何ですか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 スポーツや文芸などのサークル活動 2 地域の自治会等の活動
3 市主催事業（上総地区文化祭、高齢者学級、子どもふれあい教室、松丘ふれあいまつり、亀山ふるさとまつり など）への参加、講座の受講
4 公民館図書室の利用
5 その他（ ） 6 利用したことはない

「上総公民館のあり方に関するアンケート」調査結果について

○ 回収結果

有効回答総数

234人

○ アンケート結果

※グラフ等は別添資料を参照

1 年齢

10代	6人(2%)
20代	4人(2%)
30代	7人(3%)
40代	15人(6%)
50代	16人(7%)
60代	46人(20%)
70代	100人(43%)
80代以上	40人(17%)

「70代」が43%、「80代」が17%と全体の約60%が、70歳以上の高齢者となっています。

2 居住地

君津地区	18人(8%)
小糸地区	4人(1%)
清和地区	0人(0%)
小櫃地区	11人(5%)
上総地区	173人(74%)
市外	28人(12%)

「上総地区」が全体の約74%となっています。

3 職業

会社役員・会社員等	27人(12%)
パート・アルバイト等	41人(18%)
自営業・自由業等	21人(9%)
主夫・主婦	54人(23%)
学生	6人(2%)
無職	73人(31%)
その他	12人(5%)

回答者の多くが高齢者であることから、「無職」が約31%と最も多く、次に「主夫、主婦」が23%、「パート・アルバイト」が18%となっています。

4 公民館の役割に対する認知度

知っていた	225人(96%)
知らなかった	7人(3%)
公民館があることを知らなかった	2人(1%)

回答者の約96%の方が、公民館の役割について「知っていた」という結果となりました。

5 公民館の利用目的（複数回答可）

市主催事業への参加	121人(52%)
サークル活動	112人(48%)
図書室の利用	55人(24%)
町内自治会等の地域活動	42人(18%)
その他	21人(9%)

[市民同士の交流の場として、健康診断、会合、プレイルーム、会議の場、うたごえ喫茶、休憩、会議、学習的研修会、地区活動団体（体育協会・スポーツ等の活動事業等）の会議、講演等の聴講、展示会]

利用したことはない	17人(7%)
-----------	---------

「市主催事業への参加」が回答者数に対して約52%、「サークル活動への参加」が回答者数に対して約48%と多くなっています。

資料 3-1④

6 今後、公民館を利用しやすくなる・利用したいと思える取り組み（複数回答可）	
公民館のイベントや事業を充実させる	118人(50%)
地域で活動しているサークル活動の情報を容易に入手できるようにする	86人(37%)
公民館の利用方法や公民館でできることを今より分かりやすく案内する	76人(32%)
利用手続きを簡素化する	50人(21%)
設備を充実させる	13人(6%)
その他	36人(15%)
[スポーツができる広場を近くに、主催事業や協賛事業への参加]	
未回答	8人(3%)

「公民館のイベントや事業を充実させる」が最も多く、回答者数に対して約50%となっています。

次に、「地域で活動しているサークル活動の情報を容易に入手できるようにする」が回答者数に対して約37%となっています。

7 特に重要だと考える公民館の役割（複数回答可）	
サークルなど、人々の活動場所を提供する役割	130人(56%)
地域における仲間づくりや結びつきを深める役割	120人(51%)
災害時に避難所として機能する役割	98人(42%)
講座等の実施等で学びのニーズに応える役割	92人(39%)
行政情報の提供・発信を行う役割	58人(25%)
地域課題の解決を行う役割	48人(21%)
その他	27人(12%)
[他地域公民館との連帯]	

「サークルなど、人々の活動場所を提供する役割」が回答者数に対して約56%、「地域における仲間づくりや結びつきを深める役割」が回答者数に対して約51%となっています。

8 上総公民館が主催する講座で今後期待する内容（複数回答可）

健康学習	92人(39%)
地域の活性・まちづくり	86人(37%)
趣味	84人(36%)
高齢者福祉・超高齢社会	68人(29%)
防災・減災	59人(25%)
体育・レクリエーション	56人(24%)
自然学習・自然体験	54人(23%)
歴史・地域学	49人(21%)
デジタル社会への対応	42人(18%)
暮らしの学習	36人(15%)
ボランティア活動	29人(12%)
環境問題	28人(12%)
子育て・子育て支援	27人(12%)
青少年健全育成	27人(12%)
障がい者福祉	20人(9%)
食育	20人(9%)
人権問題・平和教育	18人(8%)
語学	14人(6%)
法律	11人(5%)
金融教育	10人(4%)
政治・経済	10人(4%)
その他	29人(12%)

[ヨガ、太極拳、ピラティス]

「健康学習」「地域の活性・まちづくり」「趣味」が多くなっています。

9 ご意見・ご要望（自由記述）

- ・気持ちよくサークル活動をさせていただいております。ありがとうございます。
- ・交流のつどいはとても楽しかったです。
- ・ふるさとまつりに初めて参加させていただき、なつかしい方々とお会いできうれしかったです。
- ・皆様（職員）が分館もあり大変頑張っておられること、ご苦労様です。
- ・文化祭の展示場所について、長く公民館活動（40年以上）協力したグループに対して、良く話し合いをしたうえで、展示場所を決定していただきたい。
- ・久しぶりのふるさとまつりに参加して、リフレッシュできました。
- ・更なる活動を！！

資料 3-1④

- ・公民館活動団体の活動状況を知らせる広報をこまめに。又、以前公民館自主活動として「演劇」（朗読劇）に取り組んだことがありましたが、実現していればよい功績になったと思われ、職員の皆様とともに汗を流す行事も良いことかと思えます。
- ・近いけれども仕事や時間の関係で、細かく利用ができないので……。
- ・駐車場がいつもいっぱい、サークル活動に来て遅刻します。
- ・たまにしか来られませんが、いつも丁寧に対応していただけて、助かります。ありがとうございます。
- ・現在のままでもよいと思えます。
- ・老人、子供たちがみんな楽しく利用できる場所にしてほしいです。
- ・イベント楽しみにしています。
- ・施設利用を申し込み、年齢が高いひとにはスマホとかデジタルでのちょっと申し込みができないため、簡単に。
- ・利用者の駐車場確保が大変です。何とかしてください。（特に金曜日の午後）
- ・駐車場が狭くて困ったときがある。
- ・土曜・日曜が利用できれば、子育て中の人たちももっと利用できるのではないかと思います。
- ・窓口で伺うと皆さまとても気持ちの良い対応をしていただきます。
- ・施設使用許可がスマホやパソコンに変わっていくようですが、利用者が高齢化している今、それを求めるのは違うような気がします。誰でも使いやすく利用できるようにすることが大きな課題があるなら、高齢者も簡単に参加できるようにアナログでやっていただきたいと思えます。
- ・駅前駐車場について、行事のある時には、早めの開錠をお願いしたい。
- ・インターネットでの施設予約が進んでいますが、高齢者の場合はなかなか覚えられないので、紙の申請も続けて行っていただきたいと思えます。
- ・行事で駐車するところがなく困った。駐車場の場所の案内をしてほしい。
- ・トイレに水あかがこびりついている。トイレは毎日磨いてほしい。
- ・部屋の使用後の掃除の徹底
- ・駐車場が狭い。駅前を半分でも開放してほしい。
- ・亀山分館の活動が充実していて素晴らしいとの声がある。人口減少している地域が生き生きしているのは、どのような努力があったのでしょうか？
- ・WiFi を、全部屋で使える様にして欲しい。
- ・いつでも、明るく、誰とでも気軽に声を掛け合いながら、集える場所であって欲しい！！
- ・何時もお世話になっております。頑張ってください。
- ・休館日の活用（職員が休みのときの運営ボランティアや委託による開放）、地域活動団体の集まりやすい場所づくり
- ・駐車場をもっと広くして貰いたい。

○ アンケート結果からの考察

- ・ 公民館自体は多くの方に認知されている。
- ・ 公民館の利用目的は主催事業への参加とサークル活動が多くを占めている。
- ・ 主催事業の充実と、活動団体に関する情報提供が求められている。
→ 主催事業については、ニーズを踏まえながら今後より一層の充実に取り組む。
活動団体に関する情報提供は、各サークル団体の一覧表の配布、市ホームページへの掲載、サークル体験会の開催を行っているが、他の方法も検討する必要がある。
- ・ サークルなど、人々の活動場所を提供する役割は、引き続き施設提供によって果たしていく。地域における仲間づくりや結びつきを深める役割は、主催事業の実施及びサークル・団体と共に考えて進めていく。
- ・ 主催事業の内容としては、健康学習・趣味・高齢者福祉については現在実施している事業の継続、また、より一層の充実を図るため内容の精査をしていく。
また、地域活性・まちづくりについては、どのような内容が地域活性やまちづくりにつながるのかを引き続き調査・研究しつつ、本アンケートの上位に挙げられたテーマなどを切り口に、主催事業として展開していくことを検討していく。

4.基本計画素案の説明

新しい小櫃地区拠点施設 の再整備コンセプト

豊かなコミュニティのもと 安心して住み続けられるまちを創る拠点

- 子どもから高齢者まで誰もが使いやすい、様々な活動を受け容れる施設の造り
- 地域の“憩いの場”として気軽に立ち寄り、集える空間づくり
- 診療所の併設による保健衛生・健康づくり機能の強化

第1回ワークショップで挙げたキーワード等

子どもの居場所、 遊び場

- 子どもが気楽に寄り道できて遊べるスペース
- 放課後に立寄れる場所
- 子どもの遊び場づくり
- 子ども向けの塾の開催

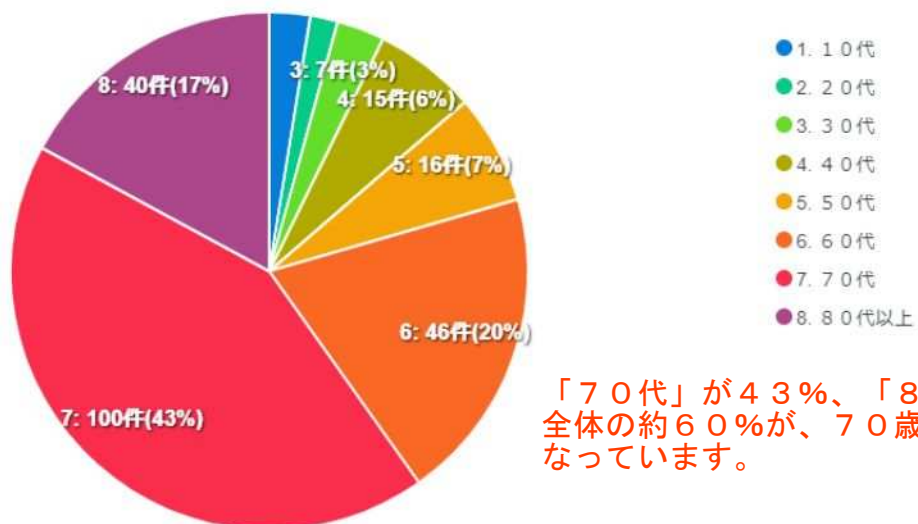
地域活動拠点としての 充実

- 福祉活動に利用できる部屋
- 通信設備（インターネット）の充実
- 防災活動拠点としての充実

誰もが使いやすい、 気軽に立ち寄れる

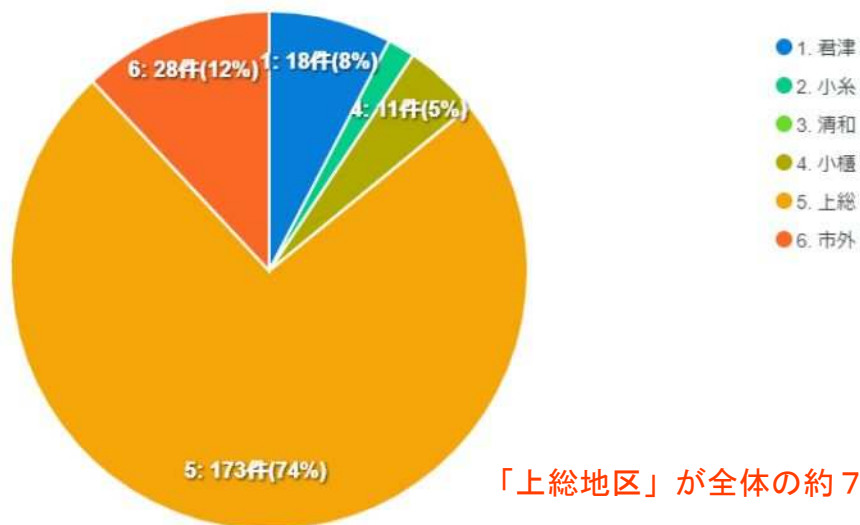
- 施設内のバリアフリー化、手すりの設置
- 机やイスの出し入れが簡単にできる
- お茶を飲みながらくつろげる、明るい空間
- 移住してきた人にもやさしい

あなたの年齢を教えてください。



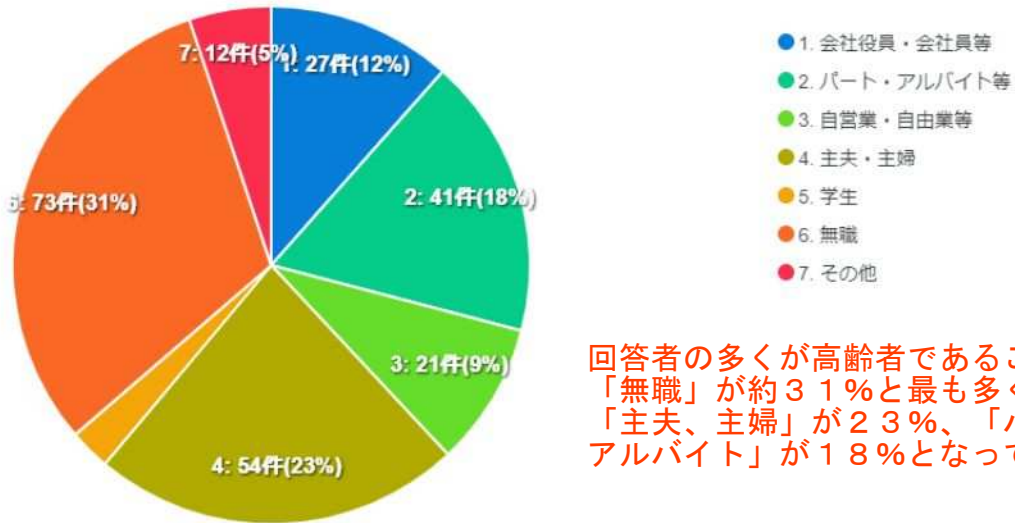
「70代」が43%、「80代」が17%と全体の約60%が、70歳以上の高齢者となっています。

あなたの住まいにあてはまるものを教えてください。



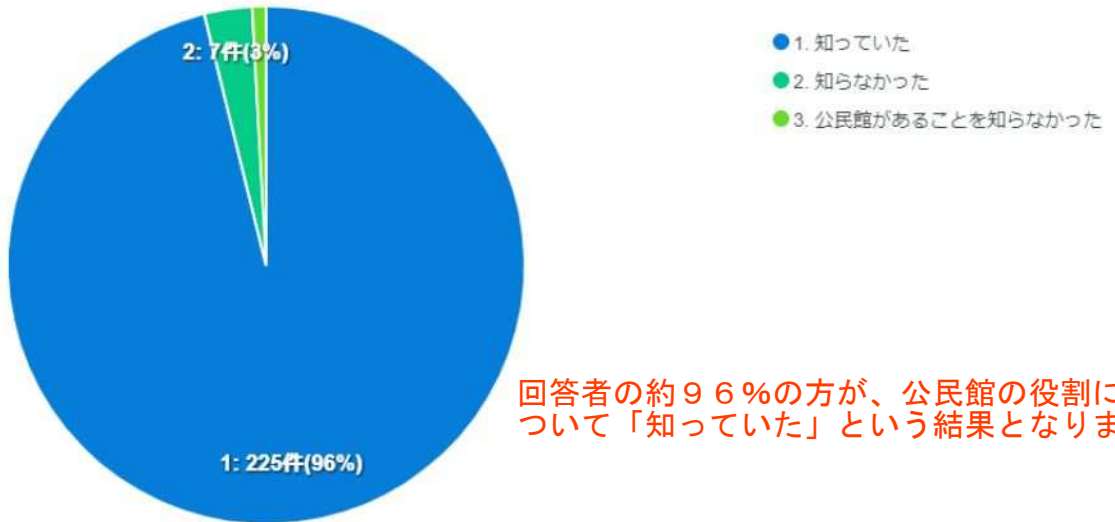
「上総地区」が全体の約74%となっています。

あなたの職業についてあてはまるものを教えてください



回答者の多くが高齢者であることから、「無職」が約31%と最も多く、次に「主夫、主婦」が23%、「パート・アルバイト」が18%となっています。

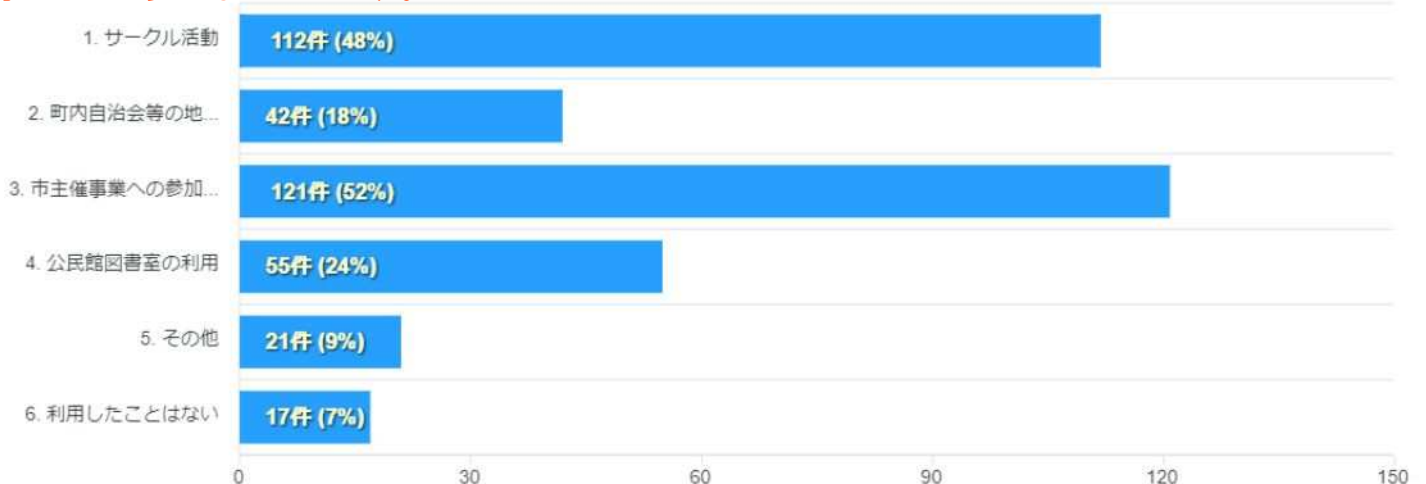
あなたは、公民館が市民の皆様の様々な会議・集会・サークル活動の場として利用できることを知っていますか？あてはまるものを選択してください。



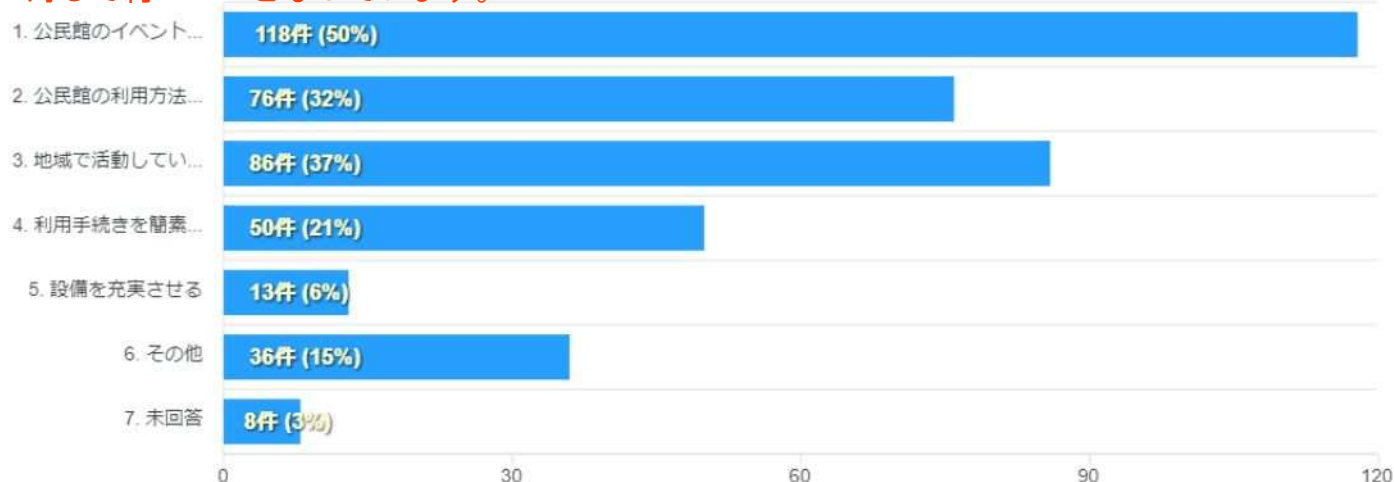
回答者の約96%の方が、公民館の役割について「知っていた」という結果となりました。

あなたが公民館を利用する際、利用目的は何ですか？あてはまるものすべてを選択してください。

「市主催事業への参加」が回答者数に対して約52%、「サークル活動への参加」が回答者数に対して約48%と多くなっています。

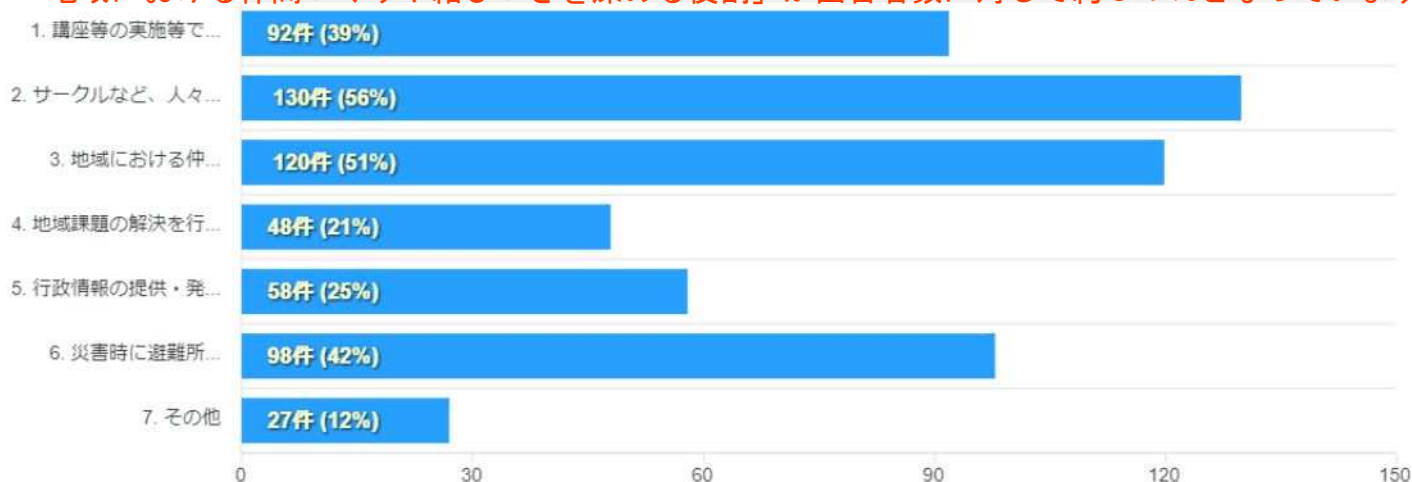


今後、あなたが公民館を利用しやすくなる、もしくは公民館を利用したいと思える取り組みは何ですか？あてはまるものをすべて選択してください。「公民館のイベントや事業を充実させる」が最も多く、回答者数に対して約50%となっています。次に、「地域で活動しているサークル活動の情報を容易に入手できるようにする」が回答者数に対して約37%となっています。



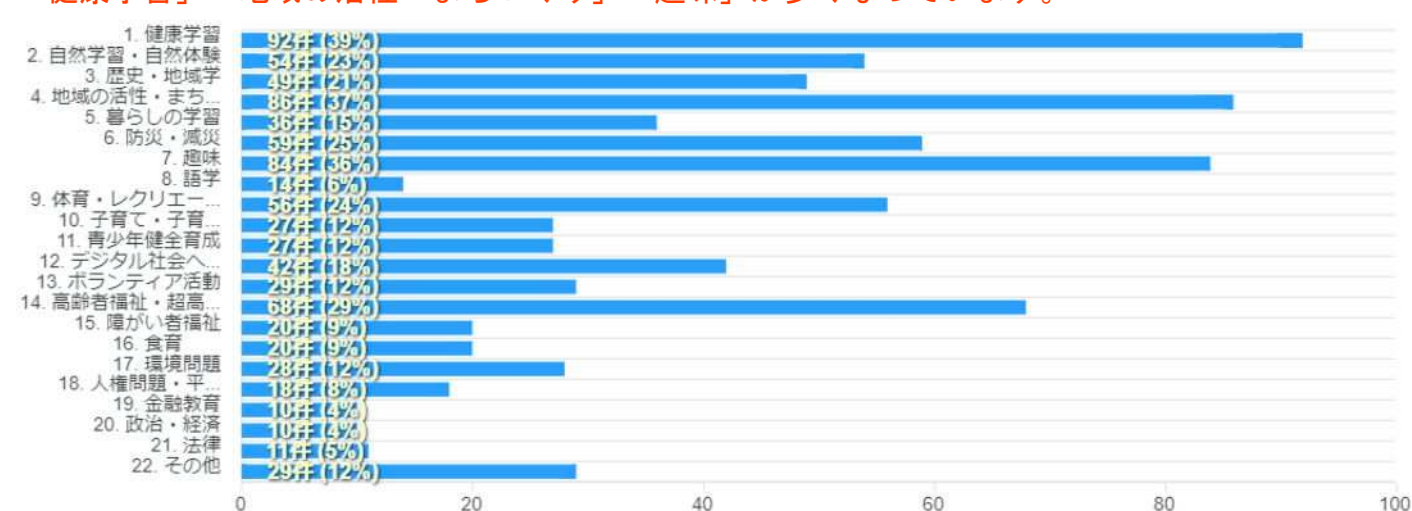
あなたが特に重要だと考える公民館の役割は何ですか？あてはまるものすべてを選択してください。

「サークルなど、人々の活動場所を提供する役割」が回答者数に対して約56%、「地域における仲間づくりや結びつきを深める役割」が回答者数に対して約51%となっています。



上総公民館が主催する講座で今後期待する内容は何か？あてはまるものすべてを選択してください。

「健康学習」「地域の活性・まちづくり」「趣味」が多くなっています。



地域活性の拠点としての公民館運営・事業 ～白石市斎川公民館の取り組みから～



宮城県白石市市民経済部まちづくり推進課
まちづくり支援係長 佐々木 さつき

今日のお話

- 白石市の概要
- 公民館の状況
- 斎川公民館の取り組み
- 白石市の地域づくりの施策



しろいし 白石市について

〈地理〉

- 宮城県の南端に位置し南北に長い盆地
- 面積:286.48km²(宮城県内35市町村中8番目の面積)
- 東京まで新幹線で約2時間
仙台まで // 約15分
// 電車で 約50分



しろいし 白石市の有名なもの

白石城(しろいしじょう)



白石城は伊達政宗の懐刀といわれた片倉小十郎の居城。平成7年に木造で復元された。白石市民のシンボル。

鬼小十郎まつり[毎年10月第1週土曜日開催]



白石城主二代目片倉小十郎重長の大坂夏の陣における活躍を、一般募集のエキストラなどで合戦シーンを再現するまつりのメインイベント「片倉軍VS真田軍決戦・大坂夏の陣～道明寺の戦い～」は必見！

白石温麺(しろいしうーめん)



長さが約9センチと短い乾麺。油を使用していないので、胃腸に優しく、ヘルシーな麺。

写真は、私の大好きなけんちゃん温麺！

白石うーめん体操 白石の子どもたちは皆踊れる♪



子供たちがとっても可愛く楽しい動画！
YouTubeで、ぜひご覧ください♪

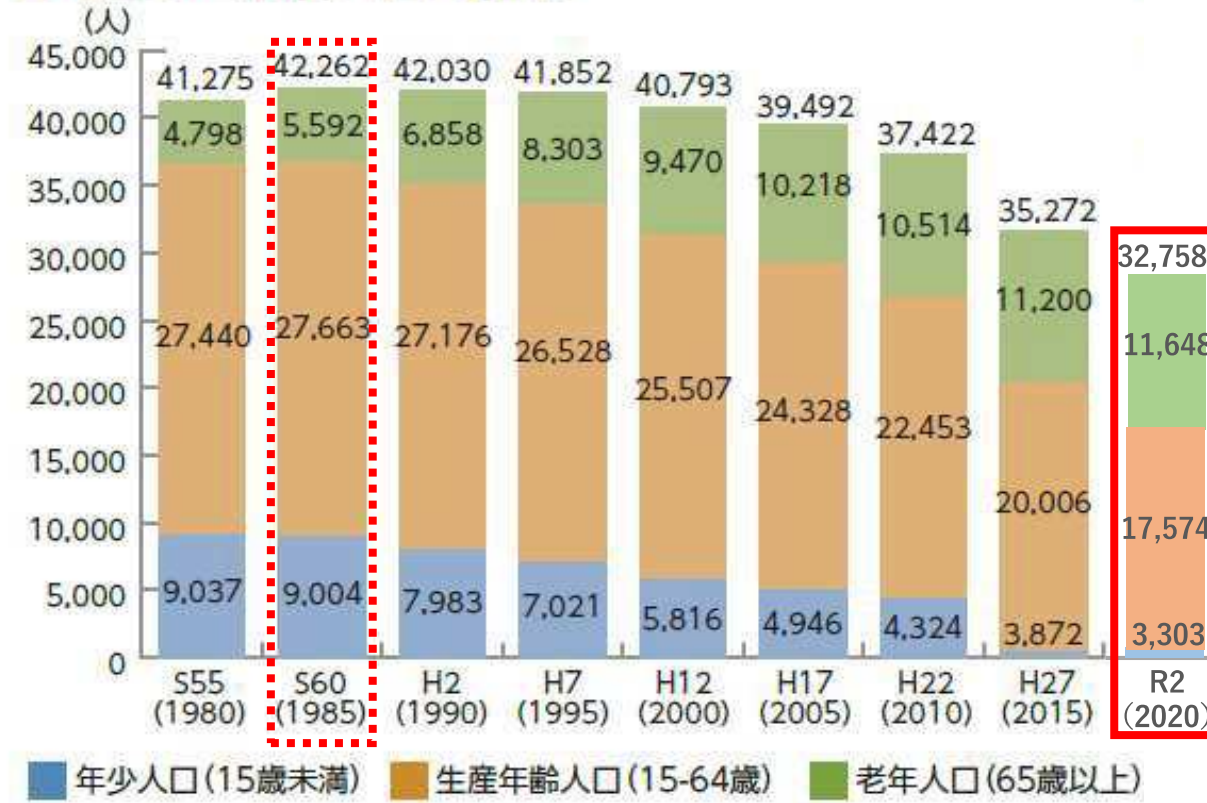
白石うーめん体操動画できたよ！！

検索

※新バージョンあり

しろいし 白石市の人口の推移

■ 年齢3区分別人口の推移

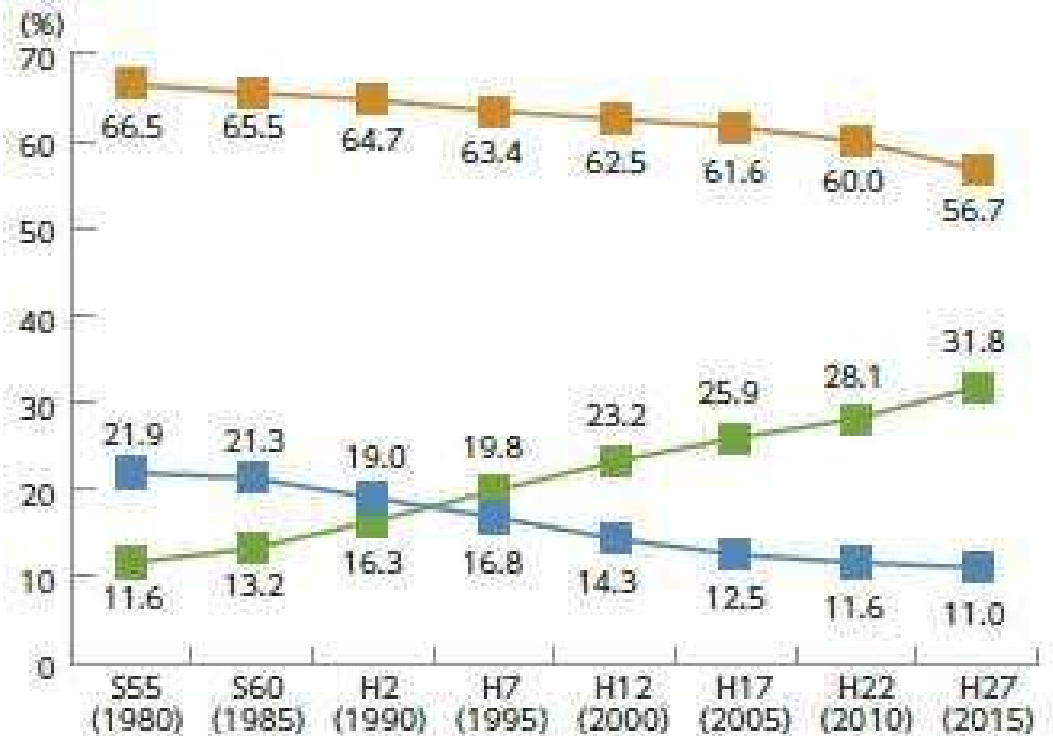


・年齢不詳がいるため、各区分の合計と全体の合計が合わない場合がある。

➡ 年少人口・生産年齢人口が減少し、老年人口は増加し続けている

R2年国勢調査: 32,758人 (△2,514人、△7.1%)

■ 年齢3区分別割合の推移



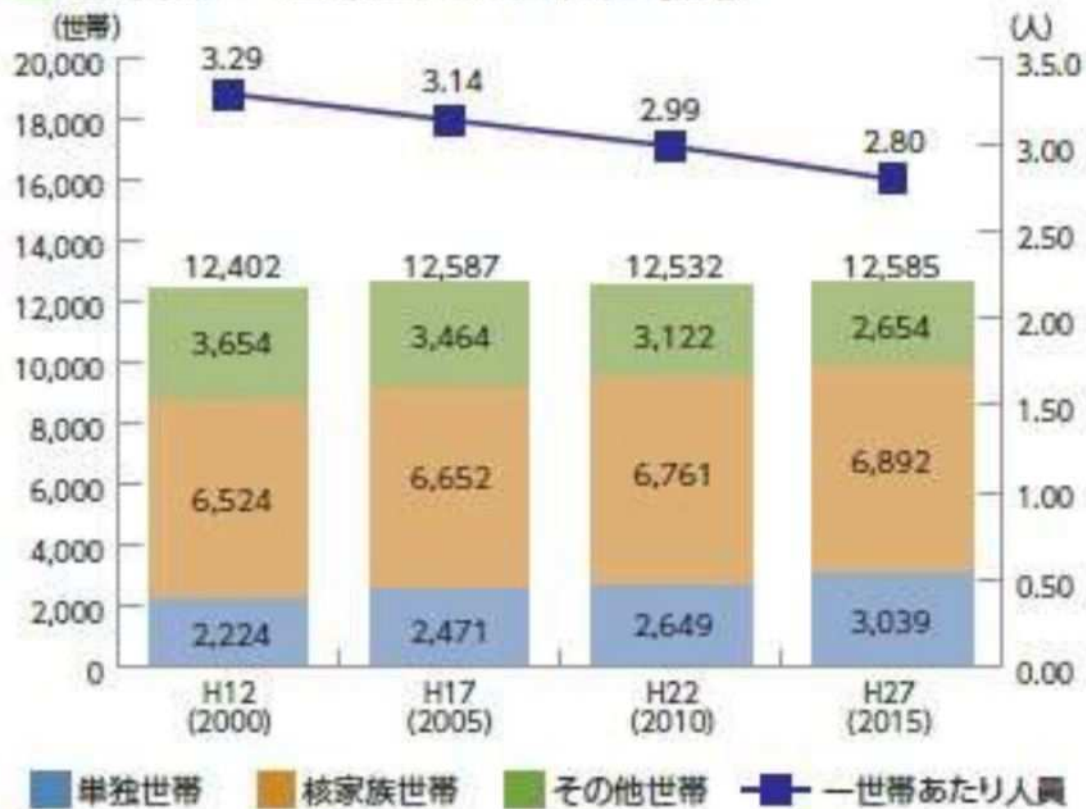
➡ 約3人に1人が65歳以上の方

第六次白石市総合計画より

※年齢3区分別人口の推移はR2のみ追加

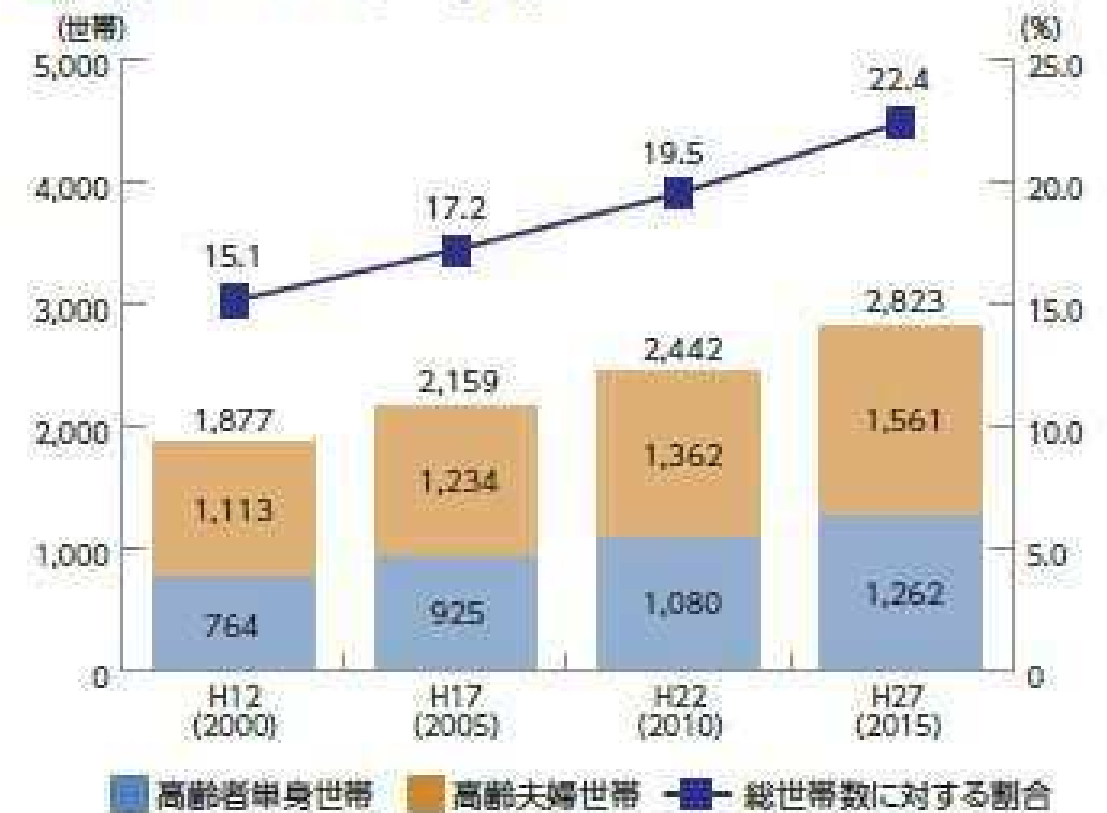
しろいし 白石市の世帯の推移

■ 世帯数・一世帯あたり人員の推移



➡ H12年以降12,500世帯前後で推移
世帯構成は単独世帯及び核家族世帯が増加
1世帯あたりの人員が減少している

■ 高齢者のみ世帯の推移



➡ 特に高齢者のひとり暮らし、高齢夫婦世帯が大きく増加し、総世帯の2割以上が高齢者のみの世帯になっている

公民館の状況

【中央公民館：1館】

※市の直営

【地区公民館：全8館、平成17年より地域組織（まちづくり協議会）が指定管理により管理運営】

※斎川公民館が第72回優良公民館表彰で『最優秀館』受賞（2020年2月14日）

中央公民館
(生涯学習課)



①越河公民館
(越河地域振興会)



②斎川公民館
(斎川まちづくり協議会)



③大平公民館
(大平公民館運営会議)



④大鷹沢公民館
(大鷹沢まちづくり振興協議会)



⑤白川公民館
(白川振興会議)



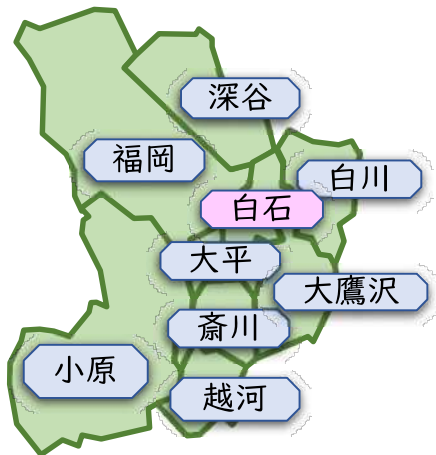
⑥福岡公民館
(福岡地区民の会)



⑦深谷公民館
(白石市深谷公民館運営委員会)



⑧小原公民館
(小原地区振興会)



第72回優良公民館表彰で『最優秀館』受賞

(2020年2月19日付 河北新報)

【2020年2月14日】

白石・斎川公民館 東北初の最優秀館

文部科学省の第72回優良公民館表彰で、白石市斎川公民館が「最優秀館」に選ばれた。少子高齢化が進む地域で、SNS(会員制交流サイト)を活用したり、若者世代を巻き込んだ住民主体の事業を展開したりした点が評価された。最優秀館に選ばれるのは東北で初めて。

公民館では、中学生から49歳までの住民が世代別に意見を交わす会議を開催。20代が講師役となり通信アプリLINE(ライン)の講習会を行うなど、若者の地域参画に注力してきた。災害時にはラインによる情報発信にも努めた。

運営する斎川まちづくり協議会は市教委と連携し、2017年度から外部講師と住民による事業企画検討会に取り組んだ。中学生以上の全住民アンケートも実施し、地域課題やニーズの共有を進めた。

こうした活動の結果、若年層が「ころ柿」作りなどの伝統行事に参加するようになったという。

公民館がある斎川地区には約970人が暮らす。高齢化率は41・2%と高く、

住民一丸地域盛り上げ

ころ柿作り参加 若年層 LINE教える

17、18年度には地元の小中学校が相次いで閉校となった。畑中多賀男館長(75)は「住民が危機意識を持ち一

体となって取り組んだ。人口減や高齢化に流されるのではなく、地域づくりを楽しみたい」と話す。

最優秀館は表彰対象となった全国75館の相互評価や

有識者の最終審査で決定する。14日に文科省で表彰式があった。

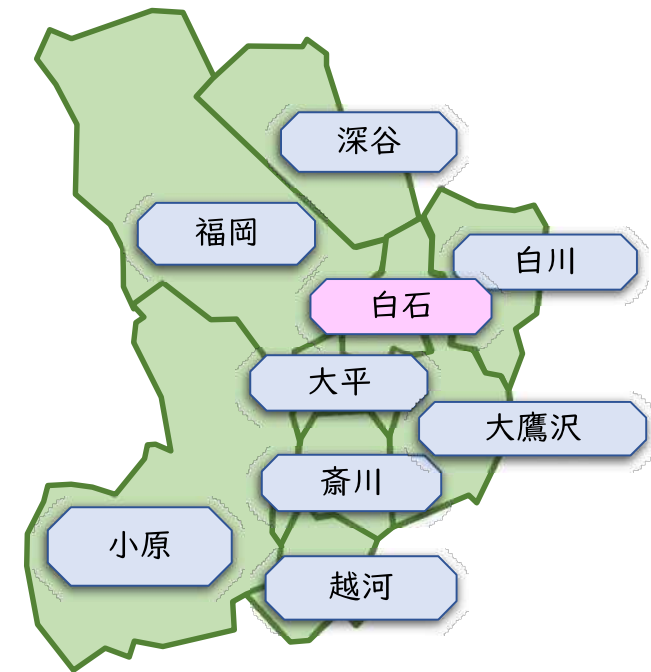
畑中館長らは18日に市役所を訪れて受賞を報告。山田裕一市長は「日本一の公民館があることは市民の誉れ。トップランナーとしてけん引してほしい」と期待した。



表彰状を掲げる畑中館長(中央)と山田市長(左端)ら

白石市の公民館の状況

	中央公民館(生涯学習課)	地区公民館
館数	1館	8館
所在地区	白石	越河・斎川・大平・大鷹沢 白川・福岡・深谷・小原
運営形態	市直営	地域組織に指定管理
職員の所属	白石市	各まちづくり協議会
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体の社会教育の推進 ・指定管理している地区公民館の社会教育推進の支援 ・まちづくり協議会の支援(⇨R3よりまちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の社会教育の推進 ・市の各部署から委託等されている業務
職員数	15人[4係](R5.4.1時点) 課長(館長)・課長補佐(副館長)・職員	3人 館長1人、事務長1人 臨時職員1人



行政と地区公民館の関係

【地区公民館】



生涯学習課・まちづくり推進課で
週1回、地区公民館巡回を通して関係性を構築

業務ごとに
各公民館(まちづくり協議会)と各担当課がやり取り



- ・地区公民館の指定管理委託(全8地区公民館)
- ・総合計画のまちづくり宣言の実現(全地区)
- ・第2層生活支援体制整備事業(地区によって)
- ・放課後児童クラブ運営(〃)
- ・放課後子供教室運営(〃) など...

- ・生涯学習課:「地区公民館」の社会教育の推進を支援
- ・まちづくり推進課:「まちづくり協議会」の支援

斎川地区公民館を核とした 住民主体の地域づくり

齋川地区の概要



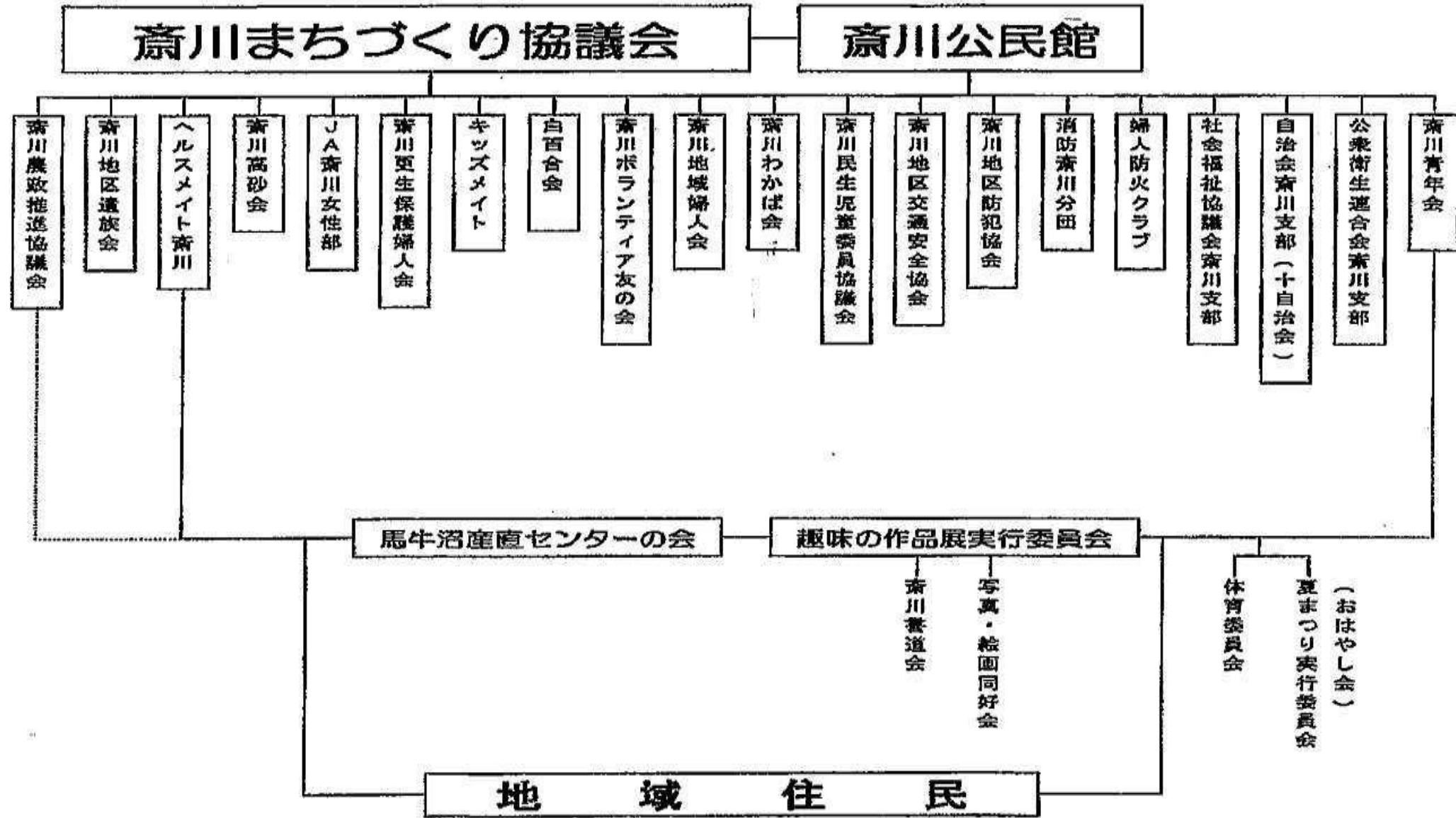
▲甲冑堂



▲桜の街道

- ◆人口・世帯数：898人 315戸
- ◆高齢化率：44.5% (2020年国勢調査)
- ◆齋川地区の面積：14.22km² (7位/9地区)
- ◆自治会数：10区
内、世帯数の少ない自治会⇨16世帯
世帯数の多い自治会⇨65世帯
- ◆特産品：凍豆腐・ころ柿・孫太郎虫
- ◆歴史：奥州街道の宿場町として栄えたまち

組織図



地域存続への危機感の高まり



白石市立斎川小学校
2018年3月末日統廃合



白石市立南中学校
2019年3月末日統廃合

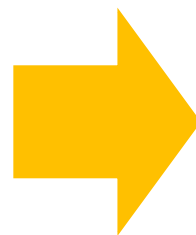
相次いで小中学校が
廃校するが決定
高まる住民の危機意識

ころ柿体験教室



斎川の誇れるものは何？

→ 学習会・ワークショップを
通してアイデアを抽出



「ころ柿づくり体験教室」

齋川地区の気づき・・・

ころ柿体験教室のような地域おこしのイベントは、その日だけは地域に活力が生まれる

しかし、
住民が日常生活の中で抱えている不安や課題を解決することはできない・・・

齋川地区のきっかけとなった・白石笑顔未来塾



白石笑顔未来塾(対象:地区公民館職員・住民・市職員など)

- ◆ 主催:教育委員会生涯学習課・社会福祉協議会
- ◆ 開催:2017年3月7日、8月27日の計2回
- ◆ 参加者数 :のべ350名程
- ◆ 講師:IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]
川北秀人氏

齋川地区が地域おこし→住民主体の地域づくりへ歩むきっかけに繋がった

齋川地区の動き

齋川地区では、地域存続への危機意識が高まっていたこともあり、多くの地区民が白石笑顔未来塾に参加した

齋川公民館長

「自分たちが次に取り組むべきヒントを得た！」

齋川公民館から市への要望

「齋川地区版の白石笑顔未来塾を開催したい！開催に向けて資金的なことも含めて全面的に支援してほしい！」

市の担当者

これまでの経験から

『地域に熱い気持ちを持ってもらうことこそ難しい！！だからこそ何としてでも開催できるようにしなければ・・・！』

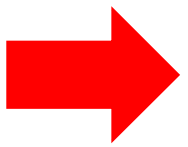
きらり齋川笑アップ塾

「齋川地区の現状を知り、これからの齋川をみんなで考える」ための住民主体の地域づくりに向けた学習会

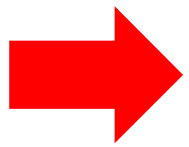


居住自治会・年代によっても困りごとのランキングが異なった

白石市・齋川地区の人口推計と人口構成の変化



分布図作成
18歳未満の同居世帯率
×
高齢化率



困りごと
ランキング

中学生以上の全住民アンケート調査の実施

アンケートを実施する前のきらり齋川笑アップ塾を通して
地区住民がアンケート実施の重要性を認識



- 配布数：963通
 - 回収数：823通
- 自治会長を中心に
アンケート用紙の配布と回収を行った



回収率：85.5% 高回収率！
地域住民の意向が反映されているデータ

齋川まちづくりアンケート

~皆さんの声をお聞かせください~

齋川まちづくり協議会では、地域で暮らす皆さんから、日頃思っていることやご意見を聞き、みんなで地域を元気にする取り組みを検討していくため、中学生以上全員を対象としたアンケートを行うことにしました。「おら、わがんね〜」なんて言わずに、思っていることをそのままお聞かせください。

~ご記入にあたってのお願い~

◇対象者 齋川地区にお住いの中学生以上全住民。

◇記入方法 回答は無記名で、ご本人にご記入をお願いします。ご本人による記入が難しい場合は、ご家族などの方が、ご本人の意見を聞きながら記入をお願いします。

◇回収方法 一人ひとり封をして各自治会を通じて期限までに提出して下さい。

◇お問合せ ご不明な点などは、各自治会長又は齋川公民館までおたずねください。
齋川公民館 TEL：0224-25-2701

◇結果の取扱い 個人を特定しない形で集計し、齋川地区の地域づくりを考える基礎データとしてのみ利用します。

1

若者会議【中学生から29歳以下】

「広報、回覧、チラシは
見ていない」

年長者の立ち入り禁止

「友達と一緒に参加する」

「お手伝いは具体的に
言って欲しい」

LINEの利用

・SNSの利用率 (全住民アンケート結果より)

全体の5割が利用

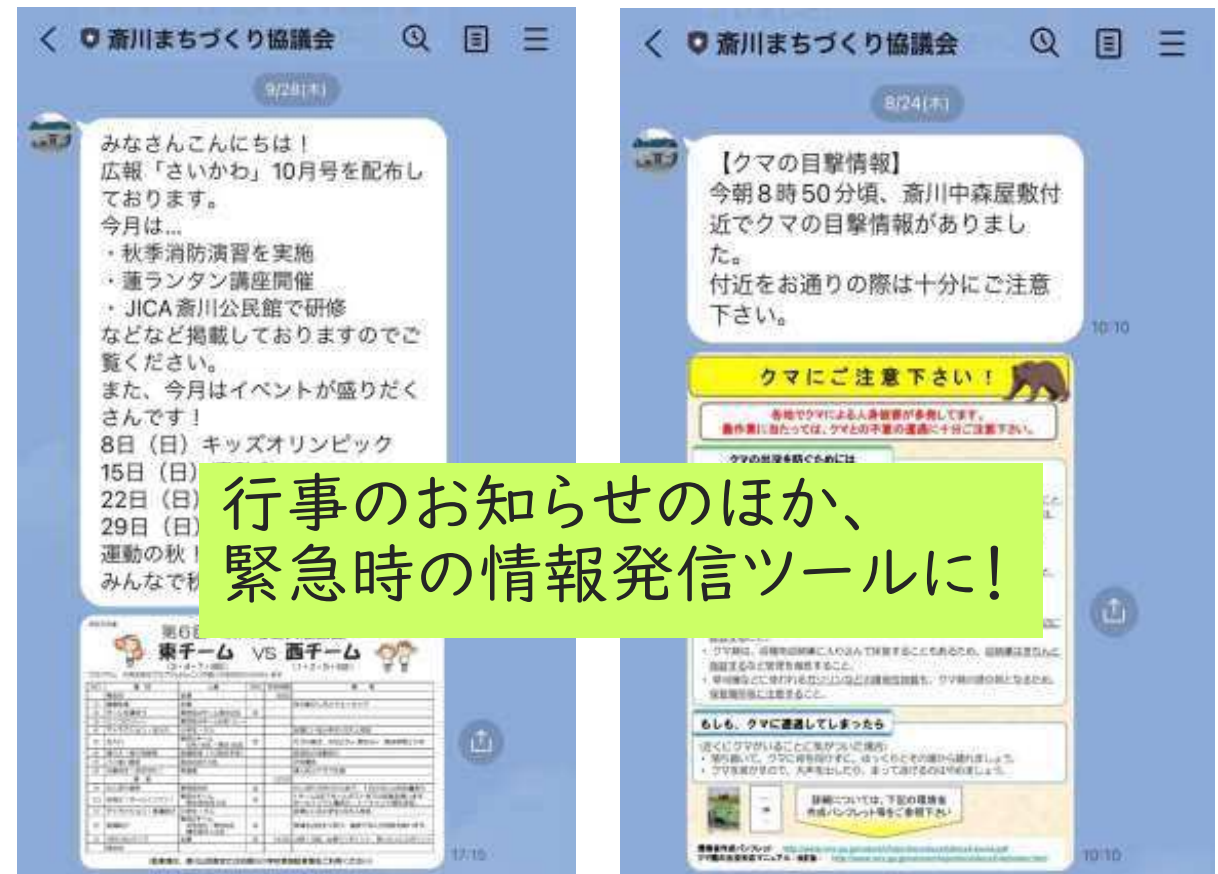
※40代以下では9割

50代でも7割が利用している

・紙面による行事の案内
→紙面+LINEで告知

・グループLINEで若者と繋がり
行事毎の参加協力要請

公式アカウントの作成



高齢者を対象としたLINE講習会



企業の協力ももらい、若者が先生に!

中堅世代会議【30歳から49歳以下】

「様々な勤務体制があり、これまでのような行事（会議）の在り方では参加できない」

年長者の立ち入り禁止

今は子供の送迎、数年後には親の送迎が大変になりそう…

「地域の仕事量が多く感じている、自分たちが役割を担うとき、これまで通りにできるのか不安」

行事・会議・組織の棚卸し



【記入例】
団体名（〇〇〇〇〇〇〇〇会） 平成30年度年間行事・会議等活動一覧

行事・会議名 (打合せや準備等除く)	活動の開催時期 (会議・準備から開催まで「一」で記入、用件など定期開催の場合は記入を省いて下さい)												行事・活動の回数	参加の人数	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
① 定例会	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	12回	15人
② 臨時会議														1回	14人
③ 新卒者の集まり														20回	30人
④ 研修会														1回	16人
⑤ 各種行事														4回	16人
⑥ 各種行事														67回	2人
⑦ 各種行事														1回	
⑧ 各種行事															
⑨ 各種行事															
⑩ 各種行事															
⑪ 各種行事															
⑫ 各種行事															
⑬ 各種行事															
⑭ 各種行事															
⑮ 各種行事															
⑯ 各種行事															
⑰ 各種行事															
⑱ 各種行事															
⑲ 各種行事															
⑳ 各種行事															
㉑ 各種行事															
㉒ 各種行事															
㉓ 各種行事															
㉔ 各種行事															
㉕ 各種行事															
㉖ 各種行事															
㉗ 各種行事															
㉘ 各種行事															
㉙ 各種行事															
㉚ 各種行事															
㉛ 各種行事															
㉜ 各種行事															
㉝ 各種行事															
㉞ 各種行事															
㉟ 各種行事															
㊱ 各種行事															
㊲ 各種行事															
㊳ 各種行事															
㊴ 各種行事															
㊵ 各種行事															
㊶ 各種行事															
㊷ 各種行事															
㊸ 各種行事															
㊹ 各種行事															
㊺ 各種行事															
㊻ 各種行事															
㊼ 各種行事															
㊽ 各種行事															
㊾ 各種行事															
㊿ 各種行事															

上記には行事・作業・会議等思いつくりの仕事を記入して下さい。
 下記には上記に記入した行事等に係る会議・打ち合せ等にかかった時間を項目毎で記入して下さい。

H30年度年間

活動時間	5133時間 → 14.1時間 (時間/日)
活動回数	817(回) → 2.2(回/日)
役員・従事者数	2875(人) → 人口1000(人) → 2.8(役/人)

※赤ちゃんからお年寄りまで1人2.8役それを考えると…

地域で活躍している世代の負担 ⇒ 相当大きい!

このままでは、今よりさらに人数の少ない次世代に引き継ぎ出来ない!

地域円卓会議の開催

- 高齢者が困ってきている買い物や通院の足の問題について、
- ・・・地域からは住民の状況を報告
 - ・・・行政からは支援制度を報告



地域→行政が様々な支援制度を行い、課題を持っていることを知ることが出来た
行政→地域が何に困っていて、どんな支援を必要としているかを知ることが出来た

移送支援実験



障がい者施設に地域貢献事業として協力をもらって実施

- ・利用者送迎の空き時間
- ・車両と運転手



いきいき脳トレ教室
と
あけぼの園交流室見学
のご案内

ご参加お待ちしております

日時 1月22日(金)

会場 白石あけぼの園 交流室(貸室棟)
(田沼町1-1-1)

時間 10:00～ 10:45 開会式
11:00～ いきいき脳トレ教室
12:00～ ごお楽しみ会

主催 赤川福祉センター協議会

実験で情報収集

- ・やる側の負担
- ・利用者ニーズの把握
- ・移動販売に関するニーズ

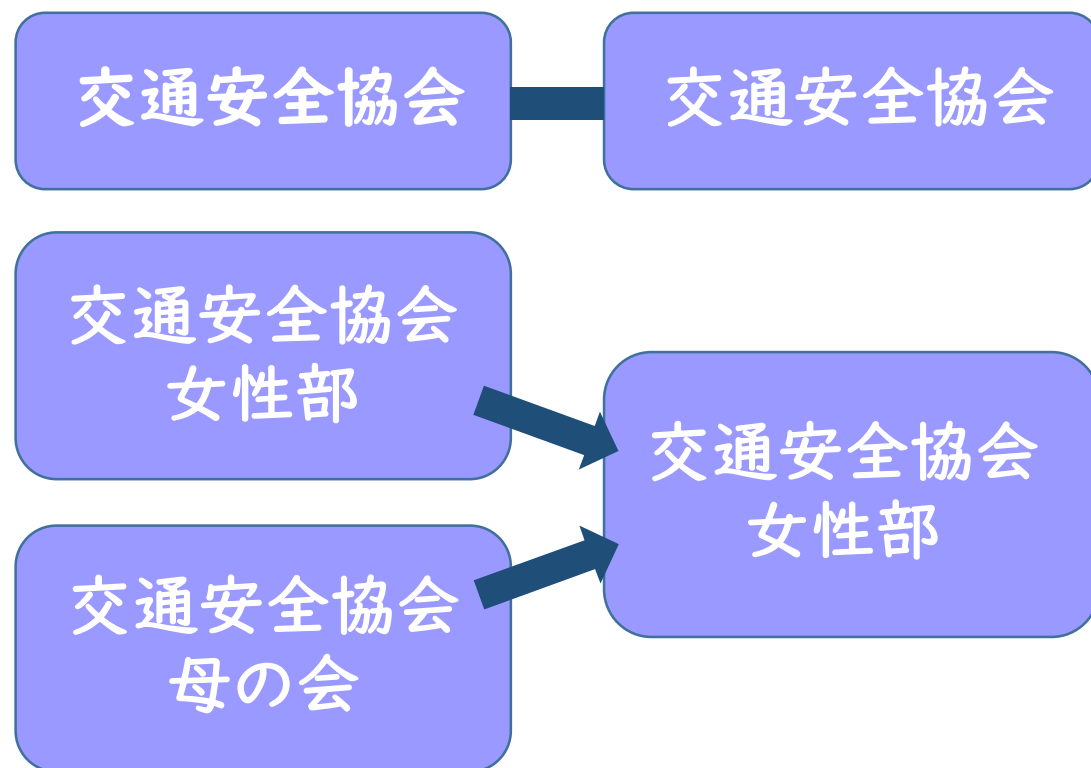
など

役職の統合と行事の掛け合わせ

【役職の統合】

これまで

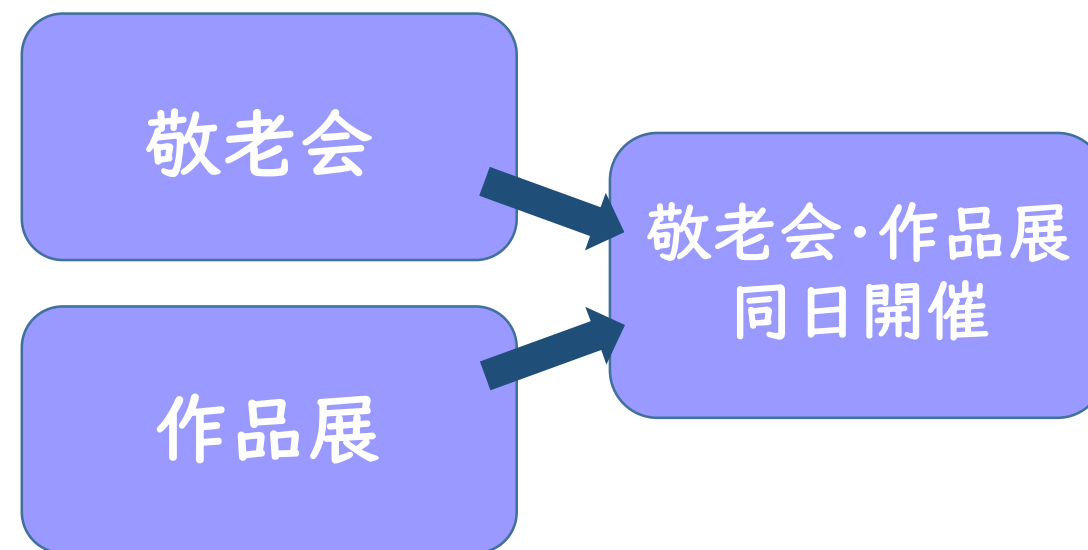
令和元年度から



【行事の掛け合わせ】

これまで

令和元年度から



公民館講座・・・さいかわ宝ものMAPづくり

目的

- ・地域の魅力を再発見する場を作る
- ・他地域の方に紹介するパンフレットを作る

受講生が
まちを歩き



限られた紙面に何を掲載するかを選定
マップのタイトルを決める



説明文を作成
イラストを描いた



レイアウトを考えた



完成!

さらに地域に愛着を
持つ機会に!



齋川楽しみ隊・・・MAPを生かした活動

まち歩きイベントを年に2回開催

・会員の特技（歴史、チラシ・缶バッジデザイン、料理・・・）
を活かした活動



参加申込

①	氏名	
	住所	〒
②	氏名	
	住所	〒



今後は

地域の困りごとに会員のアイディアで光を差していく!

収穫されなくなった渋柿の実→加工して参加者へプレゼント
神社・仏閣の銀杏の木→ありがたくて美味しいギンナンに

地区公民館を核とした住民主体の地域づくり

地区公民館と市が両輪で地域づくりを推進

市側からの「あれをしてください!」「これをしてください!」から脱却し、
地区公民館職員が地域にとって必要なことに気付いて実践することを支援



定期的な地区公民館の巡回を通して、
立場が異なるからこそ信頼関係を構築・地域(住民)の状況の把握



地域の悩みや課題をキャッチし、研修会内容の検討や情報交換・意見交換の場を設定する

地区公民館の取り組み促進に向けた学びの場づくり

◆ 研修会の開催

【目的】

・社会教育職員の役割や公民館の役割への理解を深めると共に、必要なスキルを身に付ける

【内容】

・市が独自に企画する研修会では、公民館の基本、振り返りの手法など、職員に身につけてほしいスキルなどについて

※市の単独研修では不足なため、県などが開催する研修会を市の研修会と位置づけて開催。(地区公民館職員が研修に参加しやすい条件づくり)



地区公民館の取り組み促進に向けた情報交換の場づくり

◆ 事務長会議の開催

【目的】

- ・相互の取り組みを知る・学ぶ
- ・公民館職員としての悩みの共有
- ・社会教育・公民館について理解を深める

【内容】

- ・会場の地区公民館の取り組み報告
- ・事務長の声を生かした意見交換
→ (例) 運動会の種目
- ・公民館職員に必要な文献を用意し、皆で輪読



白石市の地域づくりの施策

住民主体の地域づくりの仕組み

◆ 第六次白石市総合計画（2021年4月～）

<http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/soshiki/6/20047.html>

- ・白石市の最上位計画
- ・2021年度から2030年度までの10年間の計画
- ・白石市の目指す将来像とまちづくりの方向性の指針
- ・目指す将来像

「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいし」



⇒ 地域づくり計画

各地区で住民が話し合いを行い策定したまちづくり宣言（地域の10年後の目指すべき将来像）を、地域住民が主体となり、行政が協働（人材育成や資金支援など）することにより実現を目指している。

市は住民主体の地域づくりを推進するうえで、住民自治力（住民が考え・決め・実行する力）を育むことを大切にしている。




▲ 「まちづくり宣言」策定の地域づくり会議の様子

地区づくりの地域づくり

住民主体の地域づくりを目指して、 10地区のまちづくり宣言の実現を支援します。

1 白石東地区まちづくり宣言

**協力しあって
住みよいまちにする
コミュニティをつくらう!**



- ①水害をはじめとした災害への備えを整備・充実させ、安全・安心に暮らせるまちにします。
- ②日常的な交流・近所づきあいがあり、お互いに支えあふコミュニティのあるまちにします。
- ③次世代が地域活動に参加しやすい仕組みを整え、利便性が高く良好な住環境がこれからも維持されるまちにします。
- ④子ども・若者に地域の伝統・文化を継承する取り組みを積極的に進め、地域行事等に参加しやすいコミュニティをつくっていきます。

2 白石西地区まちづくり宣言


**災害への備えと
安心して暮らせる
良好な住環境のあるまち**



- ①すべての世代が参画・協力しやすい方法で地域活動を行い、常日頃から災害への備えが整っているまちにします。
- ②生活利便性のさらなる向上を図り、安心して暮らしていける良好な住環境をこれからも守っていきます。
- ③城下町白石としての風情・伝統・文化と、きれいな水・美しい自然を守りながら、活気あふれる魅力的なまちにします。

3 越河地区まちづくり宣言


**「こすごう」という名の
大家族、世代を超えて
つながりあうまち、越河!**



- ①世代を超えて対話する機会を積極的に設け、お互いに意見を尊重しながら、地域の担い手を育てていきます。
- ②公民館事業の充実や小学校の活動への参加・協力などを通じて、世代を超えて交流しあえる地域にします。
- ③人と人のつながりを強め、高齢になってもいきいきと安心して生活できる環境を整えていきます。

4 新川地区まちづくり宣言


**絆とつながりをさらに強め、
持続可能なまち
「新川」を育む**



- ①住民同士のコミュニケーションをもっと密にし、隣近所でのささあひと若者・中間世代の地域参画が、日常的にある仕組みを構築していきます。
- ②空き家や耕作放棄地の増加を抑制し、次世代が住み続けたいと思える環境を維持していきます。
- ③農作業や趣味・小遣いなどで毎日が充実し、健康的に暮らし続けられる地域にします。
- ④地域のさまざまな課題に対し主体的に行動を起こせるよう、新川公民館を核としたコーディネート機能の拡充を図ります。
- ⑤「甲冑堂・桜の回廊」等の史跡やこころづくりなどの伝統文化を大切に、次の世代に継承していきます。

5 大平地区まちづくり宣言

**豊かな暮らしをささえる環境と
コミュニティのあるまち大平**



- ①インフラ整備が進んでいても、豊かな田園風景を守りつづけるコミュニティをつくっていきます。
- ②すべての世代が、地域活動に積極的に参加できる多彩な場・機会のあるまちにします。
- ③子どもたちの声・思ふかがい至るところで感じられ、若者が定着するまちにします。
- ④高齢者が健康でいきいきと暮らしつづけられるまちにします。

6 大鷹沢地区まちづくり宣言

**豊かな自然・歴史文化を継承し、共に支え合い、
住民が楽しく集える地域をつくりまします。**




- ①若者が地域で活躍でき、そして、住みたくするような地域を目指します。
- ②山林・農地を守り、災害に強く、助け合う地域をつくりまします。
- ③地域の歴史と資産を伝え活用し、子どもから高齢者までが一緒に学び合いを進めます。
- ④あいさつで顔が見える地域コミュニティを育み、住民同士のつながりやすさを深めます。
- ⑤大鷹沢の魅力が地区内外に積極的に発信し、地域の活性化に繋がります。



7 白川地区まちづくり宣言

**安心して、笑顔あふれる
白川であるために!!**



- ①世代を超えた人の交わりで安心して暮らせる白川をつくりまします。
- ②高田川の清流を守り、自然豊かな白川をつくり、若い世代に伝えます。
- ③地区のイベントを通じて、地域全体で子育てができる白川をつくりまします。
- ④人と人とのつながりを強め、助け合う白川をつくりまします。
- ⑤尊い生命の産業である米づくりを絶やさない白川をつくりまします。

8 福岡地区まちづくり宣言


**つながりを大切にした
安心・安全な地域づくり**



- ①住民同士の絆を深め、お互いに助け・ささあひながら、安心・安全に暮らせる地域にします。
- ②交流を積極的に進めながら、若者・中間世代が地域活動に参加しやすい環境をつくりまします。
- ③自然や歴史などの地域の宝を大切に、各地区の特色ある活動がこれからも営まれ続ける地域にします。

9 深谷地区まちづくり宣言

**利便性と安全性の高い
住みよいふるさと・深谷**



- ①すべての世代にとって生活の利便性と安全性が高い、住みよい地域にします。
- ②交流から世代間のつながりを生み出し、隣近所での助け合いが日常的にある地域にします。
- ③これから地域を担う人たちのための仕組みを整え、若者が地域に定着する環境のある地域にします。

10 小原地区まちづくり宣言

**暮らしを支える密なつながりと
持続可能な仕組みのある里づくり**



- ①次世代にしっかりとバトンを渡せるよう、持続可能な地域運営のあり方・仕組みを構築していきます。
- ②隣近所・住民同士のつながりをもっと密にし、お互いの助け合いと交流が日常的にある、健康寿命の長い地域を目指します。
- ③移動手段や通信環境など、日々の暮らしを支える生活インフラの整備・充実を図っていきます。
- ④小原小中学校を核に、世代を超えた交流・活躍の場を生みだしながら、郷土愛と地域を担う人材を育てていきます。

白石地区の東西については、自治会を単位として、災害時に避難する指定避難所により分類。(五十百順)
白石東地区の自治会：旭町、上原山第1、上原山第2、郡山、寿町、寿山、蘆原、田中、本郷第1、本郷第2、緑が丘、福岡
白石西地区の自治会：小下巻、満水小巻、田町、中谷間、中町、豊町、新町、西谷間、東谷間、本郷第3、本郷第4、短ヶ町、南町、西町町

市の施策

(平成25年度～令和7年度まで)

「まちづくり宣言」策定



まちづくり交付金

- ※令和7年度末に終了
- ※基本額50万円を
令和6年度は30万円、
令和7年度は20万円に減額
- ※市が裁量権限を持つ



(第六次総合計画による令和3年度からの新たな施策)

「まちづくり宣言」策定



「地区計画」策定

- ※策定に活用できる「地区計画策定支援交付金」を令和3年に創設
- ※全地区一斉に策定せずに、地域からの手上げ制
- ※交付金は講師謝金、先進地視察のバス借り上げ料などに活用できる



人と地域が輝く
未来共創交付金

- ※地区計画を策定した地区がまちづくり交付金に替わり活用できる
- ※令和4年度に創設
- ※2地区(斎川・小原)が活用中
- ※地域が裁量権限を持つ

地区計画の策定

【特徴】

- ・まちづくり協議会（地区）ごとに、地域住民の話し合いにより策定
- ・一斉スタートではなく、**手上げ制**により策定を推進
- ・最大3年間かけて策定することが可能
- ・地区計画策定支援交付金の創設・・・講師（ファシリテーター）・視察にかかる経費を交付

【進捗状況】

- ・策定完了：斎川地区・小原地区
- ・策定中：越河地区・大鷹沢地区・白川地区
(令和5年度に完了予定)
- ・今年度から取組予定：福岡地区・深谷地区

※越河地区の越河これから塾（策定会議）の様子



齋川・地区計画

第六次白石市総合計画・地域づくり計画【齋川地区計画(令和4年度～令和8年度)】

テーマ:絆とつながりをさらに強め、持続可能なまち「齋川」を育む

基本方針	具体的な取り組みの方向性	事業実施年度					備考
		R4	R5	R6	R7	R8	
1. 住民同士のコミュニケーションをもっと密にし、隣近所でのささえあいと若者・中堅世代の地域参画が、日常的にある仕組みを構築していきます。	① 幅広い世代が気軽に集い・交流できる場・居場所をつくる。	[Progress bar from R4 to R8]					重点施策
	② 住民が関心が高まる情報を、効果的・効率的に発信・伝達していく。	[Progress bar from R4 to R8]					
2. 空家や耕作放棄地の増加を抑制し、次世代が住み続けたいと思える環境を維持していきます。	① 空き家・遊休農地の実態を、地区独自に調査・把握する。	[Progress bar from R4 to R5]					重点施策
	② 農作物の鳥獣被害対策を、研究・実施していく。	[Progress bar from R4 to R8]					
	③ 体験等を通じて農業の魅力を若者に伝える。	[Progress bar from R8 to R8]					
	④ 外から人を呼び込めるような耕作放棄地の有効活用を検討していく。	[Progress bar from R6 to R7]					
3. 農作業や趣味・小商いなどで毎日が充実し、健康的に暮らしつづけられる地域にしていきます。	① 住民が主体的に取り組む新たな事業やコミュニティビジネスなどを、地域ぐるみで支援・後押しする。	[Progress bar from R5 to R8]					
	② 多様な住民の参加・協力を得ながら、産直センターの有効活用を図る。	[Progress bar from R4 to R8, with dashed line from R6 to R8]					重点施策
4. 地域のさまざまな課題に対し主体的に行動を起こせるよう、齋川公民館を核としたコーディネート機能の拡充を図ります。	① 各団体の活動や有している情報を共有し、お互いの連携を強化していく機会・仕組みをつくる。	[Progress bar from R6 to R8]					
	② 課題解決や住民が必要とするテーマ(ICTスキルなど)の学習会を充実させる。	[Progress bar from R4 to R8, with dashed line from R6 to R8]					重点施策
5. 「甲冑堂・桜の回廊」等の史跡やこころ柿づくりなどの伝統文化を大切に、次の世代に継承していきます。	① 齋川お宝マップを活用したまちあるきを推進し、イベント等を企画・実施する。	[Progress bar from R4 to R8, with dashed line from R6 to R8]					重点施策
	② 歴史的資源を継続して維持・管理していくための方法を検討する。	[Progress bar from R7 to R8]					
	③ 伝統文化を継承する取り組みを、継続・充実させていく。	[Progress bar from R4 to R8]					

交付金報告会

交付金を活用した団体による事業の報告

※令和4年度よりスタート



【目的】

- ・活動の継続・進化 (相互の取り組みからヒントを掴んでもらう)
- ・顔の見える関係性構築の促進

【内容】

- ・交付金活用団体の取り組み報告、質疑応答
- ・グループごとの意見交換



人と地域が輝く未来共創交付金制度の検討

[策定の過程]

行政だけではなく、ワーキンググループ方式にして、**地区公民館職員と共に制度内容を検討**

- ・「今後の地域づくりに必要な視点」を学ぶ場を盛り込み、行政とまちづくり協議会が共に学び合い同じ視点を持つ場を設けた
- ・地域住民の声を把握して制度に反映

[制度の特徴]

交付決定の権限は市ではなく地域（まちづくり協議会）が持つ

・・・**地域の決める力の育成、地域の思い描く未来の実現を支援**



ご清聴いただき
ありがとうございました

